

第7回神奈川県ジュニア/ユース・ライフセービング競技会 KANAGAWA JUNIOR / YOUTH LIFESAVING CHALLENGE 2019 競技規則の追記について

第7回神奈川県ジュニア/ユース・ライフセービング競技会
実行委員会

第7回神奈川県ジュニア/ユース・ライフセービング競技会について、募集要項で示した競技規則にユースについてコースの記載がされていなかったため追記いたします。

(変更前)

■競技規則

本大会競技規則は、「ライフセービング競技規則 (2018 年版)」に則り行います。距離については、別に表記します。

[http://jla.gr.jp/jla2/wp-content/uploads/2014/12/オーシャン競技\(ジュニア\)2017年大会用r02.pdf](http://jla.gr.jp/jla2/wp-content/uploads/2014/12/オーシャン競技(ジュニア)2017年大会用r02.pdf)

(変更後)

■競技規則

本大会競技規則は、「ライフセービング競技規則 (2018 年版)」に則り行います。

ジュニアの競技については、下記のサイトから閲覧ください。

[http://jla.gr.jp/jla2/wp-content/uploads/2014/12/オーシャン競技\(ジュニア\)2017年大会用r02.pdf](http://jla.gr.jp/jla2/wp-content/uploads/2014/12/オーシャン競技(ジュニア)2017年大会用r02.pdf)

ユースの競技種目、

- ランスイムラン (中学生女子)
- ランスイムラン (中学生男子)
- ボードレース (中学生女子)
- ボードレース (中学生男子)

については、下記に記載するのでよく読んで練習を積んでください。また、共通規則や総則も併せて読んでおいてください。

- ビーチフラッグス (中学生女子)
- ビーチフラッグス (中学生男子)

については、「ライフセービング競技規則 (2018 年版)」に則り実施します。

➤ ランスイムラン (Run-Swim-Run) 中学生

(※水中のブイ配置図についてはニッパーボードレース 5-6 年生 を参照)

(1) 競技人数

1 人

(2) 使用器材

なし

(3) 1 レースの最大競技者数

32 人

(5) コース

- ① ブイの位置

スイミングブイは、2 個のブイを約 90m 沖合に約 50m 間隔で配置する。もう 1 個のブイは、2 個のブイから約 10m 沖合の 2 個のブイの中間に配置し、3 個のブイで三角形をつくる。コースは、約 100m 走り、約 250m 泳ぎ、約 100m 走りゴールするようにする。

② スタート・フィニッシュライン

スタートラインとフィニッシュラインは同じ。ラインの長さは約 30m で、両端に緑旗を立てる。

③ 折返し点

浜を折返す際、折返しの旗は緑／黄旗とする。

(5) 競技の方法

① 競技者はスターターの合図で走り始め、折返し旗を回って入水し、3 個のブイを左から右へ回って泳ぐ。

② 競技者は浜まで泳いで戻り、折返し旗を走って回り、フィニッシュラインを通過する。

③ 着順はフィニッシュラインを越える競技者の胸の位置で判定される。競技者は体を起こした状態でフィニッシュラインを足で越えなければならない。

(6) 失格

総則（共通・オーシャン競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

① 規定された通りにコースを終了しなかった場合。

➤ ボードレース (Board Race) 中学生

(※水中のブイ配置図については競技規則 2018 年版 サーフレースを参照)

(1) 競技人数

1 人

(2) 使用器材

ボード

(3) 1 レースの最大競技者数

16 人

(4) コース

① ブイの位置

ブイは、約 120m および約 170m 沖合に配置し、コースは約 400m とする。

② スタートライン

スタートラインは、第 1 ブイがラインの中央に位置するように設置し、水際から約 5m の浜に設定する。ラインの長さは約 30m で、両端にポールを立てる。

③ フィニッシュライン

フィニッシュラインは、ラインの中間に第 9 ブイが位置するように水際から約 15m に設定する。ラインの長さは約 20m で、両端に旗を立てる。

(5) 競技の方法

① 競技者は、ボードを保持しスタート位置につく。各競技者間は、約 1.5m の間隔をとる。

② スターターの合図で、競技者はボードを漕いで指定されたブイを左から右へ回って浜に戻る。

③ ゴールは競技者がボードと共にフィニッシュラインを海側から通過する。

④ 着順は、フィニッシュラインを越える競技者の胸の位置で判定される。競技者はボードを保持し、体を起こした状態でフィニッシュラインを足で越えなければならない。

- ⑤ 競技者は、ボードから離れたり操作できなくなっても、再度それらを確保できれば失格にはならない。
- ⑥ 競技者は、他の競技者のボードを掴んだり、故意に進路を妨害してはならない。
- ⑦ 競技中、ボードの交換が必要な場合は、スタートラインから再スタートすれば交換することができる。ただし、他の競技者の進路を妨害してはならない。また、交換する場合、ハンドラーとして同じチームの競技者が別のボードをスタートラインまで運ぶことは認められる。ハンドラーは共通競技総則に準じる。

(6) 失 格

総則（共通・オーシャン競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 規定された通りにコースを終了しなかった場合。